

平成 31 年度 学校法人創志学園 事業計画書

(平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日)

【高等教育部門】

1. 環太平洋大学

<事業計画概要>

建学の精神に基づく教育目的の達成、研究拠点として学術における対外的発信、地域に根差した活動による地域貢献の役割の達成、産学連携を推進した実学教育と社会貢献に努める。

また、どこにもない大学の対外的評価をさらに高めるべく、より完成度の高い教育成果を生み出す新たな教育活動を設定する。また、IPUNZ をはじめとする海外大学との連携・交流をさらに強化し、双方の留学を推進するとともに、新校舎・施設による教育研究活動の発展的利用の他、募集広報活動に最大限活用する。

<主な事業計画>

1. 学部・学科の主な取り組み

(1) 次世代教育学部 こども発達学科

「幼児体育指導力」「幼児英語指導力」「こども学」習得に向けたカリキュラムの教育効果を分析して指導体制を見直すとともに、IPUNZ への留学システムとカリキュラムを充実させる。また、地域に開く子育て支援事業を通して学生の保育スキル向上と大学の知名度上昇に繋げるとともに、保育者としての資質と能力の向上を図り、公立幼稚園・保育園合格（目標 15 名）、私立園就職率 100%を目指す。

(2) 次世代教育学部 教育経営学科

グローバル化に対応する教員を養成するため、国際教育コースの充実と 2 年次留学の推進を図るとともに、複数免許及び資格取得の強化として副免許取得率の向上を図る。加えて、新たに「教育心理コース」「道徳教師塾」を展開するとともに、「青年教師塾（教育実践学）」「理科教師塾」のプログラム充実を図り、進路別ゼミにおける徹底した学習・就職指導を強化により、教員採用合格者 90 人達成を目指す。

(3) 次世代教育学部 教育経営学科 [通信教育課程]

外部一般学生の募集を強化するために、新たな WEB 広報や HP の更新に注力し、個別相談会の効率的な実施により入学検討者の満足度を高め、出願者数の増加に導く。また、WEB 決済システムの導入により、学生の利便性を高め、事務作業の合理化とミス防止に繋げるとともに、レポート提出の WEB システム導入により業務改善を検討する。

(4) 体育学部 体育学科

キャリア教育における大志会、立志会、翔志会との連携を強化し、学科教育とキャリア教育の融合を強固にするとともに、中高保健体育の教員合格者数を増やすため保体大志会を設ける。また、スポーツ科学センターの竣工と健康科学科キャンパス移転にあわせて体育学部が一つとなり、「科学で強くなる IPU」として体育会の競技力向上に貢献できる研究を中心に展開する。さらに、女子栄養大学との「スポーツと食」をテーマにした連携や、AMOS 大学（フランス）との「スポーツ・ビジネス」領域の研究連携・共同研究等による国内外大学連携の推進を図る。

(5) 体育学部 健康科学科

柔道整復師国家試験合格率向上への取り組み強化として、夜間特別補講やグループ学習、柔道

整復師国家試験予備校講師の招聘による夏季補習を実施する。また、各学年別の補習体制（環ト
レ柔整等）を徹底し、進捗状況を都度把握しつつ教育成果を向上させる。さらに、コンディショ
ニングルーム、スポーツ科学センターを活用し、入学者確保の取組を強化する。

(6) 経営学部 現代経営学科

文化・社会の発展に寄与するとともに経済・産業の諸分野において中核を担う企画力と実行力
をもち、知識創造時代におけるイノベーションの原動力となり得る人材養成を行う。また、グロ
ーバル化する企業活動に貢献できる人材養成のため、客員教授、ゲスト講師による実践的な講義
の充実を図り、継続性のある授業確立を目指す。

2. 就職率向上への取り組み

- (1) チーム IPU として1年から4年までのキャリア教育のストリームを強化するとともに、キャリア
教育の一貫性を高め、初年次教育とタイアップした「IPU 学」の導入を図る。
- (2) ビジネスの観点をも身に付けさせ、グローバルな視野を広げるため、国内企業でのインターンシ
ップ参加の促進と海外でのインターンシップや国際キャリア研修を採り入れる。
- (3) 大学での成長・のびしろの可視化を行うため、「R-CAP」「PROG」の有効活用、コーチングの授
業（新規）のフィジビリティスタディ、女性リーダー塾の継続的な開講を実施する。
- (4) 各学科、各支援室間、アドミッションセンターとのコミュニケーションを継続させる仕組みづく
り（協働の型の形成）を行う。

3. 学生支援に関する取組み

(1) 学生サポートセンター

学生の修学支援及び学生生活支援のより一層の充実を図るとともに、学生指導の諸問題については、
全学的な学生指導体制を確立し、IPU 生としてのモラルをもって生活できるように指導する。

(2) 体育会

有望なスポーツタレントの獲得に向け、情報の収集・分析とタイムリーなアプローチを行うととも
に、各部の成績向上、練習環境の整備を図る。また、学内及び地域への貢献活動を充実させ、さら
に2020年の東京オリンピックに向けた取組みを実施する。

(3) 学友会

学友会総会や学園祭への支援、クラブ・サークル活動等体育会以外の各サークル活動への助成の充
実等を図る。

4. 募集戦略

- (1) アドミッションセンターの業務内容の再整理を行い、入試、日本人募集、外国人募集、入試広報、
大学広報それぞれの各リーダー・メンバーの業務分掌の再設定を行う。
- (2) 効果的な広報手法（WEB、SNS、イベント、マスメディア）のバランスの見極めを行い、入試広報（媒
体、イベント、大学案内、他）の通年戦略と発信内容の精査によって効果の精度を高める。
- (3) 募集における出願実数の拡大と、すべての学科の定員充足を目指し、募集チームにおける戦略の設
計と全体戦略の明確化を行い、国内と国外での募集戦術の連携を図る。
- (4) 入試改革に向けての具体的な方針と対応策の着手を行う。
- (5) 2018年度のWEB入試の実績を踏まえ、出願業務の精度と作業効率向上につながる改善を行う。

5. 新施設の活用計画

- (1) 新校舎「DISCOVERY（ディスカバリー）」を利用した非認知能力教育の実践と、新たな双方向教育の実現に向けて各学科での企画を実施し、学外に教育と研究の成果を発信する。
- (2) スポーツ科学センターを活用した新たな研究活動の取組と研究成果の発信を行うとともに、地域の研究拠点としての産官学連携の取組や、教育研究の広報的発信によって大学の評価を高める。
- (3) 新学生寮「UNI VILLAGE（ユニヴィレッジ）」の運用開始により、新たな寮のコンセプトによる共同生活における教育の場として、本学の新たな教育成果につなげる。
- (4) クラブハウスの新規運用により、体育会学生本部をはじめ、陸上部やサッカー部、ラグビー部等での有効活用を行う。

6. 研究に関する取組み

- (1) 学術研究推進委員会を中心に研究のサポート体制を一層充実させ、科研に関する説明会の定期実施、勉強会を開催する。
- (2) 紀要の年2回の発行と、研究発表会の実施や投稿前論文の読み合わせ会を実施する。
- (3) スポーツ科学センターを新たな拠点とする研究の取組と、研究内容の対外発信を行う。

7. FD・SDに関する取組み

- (1) アセスメント・ポリシー点検の仕組みづくり（機関レベル）として、ディプロマ・ポリシーのアンケート実施とその分析・公開、学生評価委員会の発足と運営・発表、教職員総会におけるFD・SD研修を実施する。
- (2) アセスメント・ポリシー点検の仕組みづくり（カリキュラムレベル）を行うべく、ディプロマ・ポリシーの見直しに伴うカリキュラムマップの再作成や、到達目標・授業方法・事前学習・評価方法が明示されたシラバス作成、成績分布表の作成と教員による成績評価の平準化を実施する。
- (3) アセスメント・ポリシー点検の仕組みづくり（授業レベル）を行うため、アクティブ・ラーニングやICT活用技術の啓発を行い、授業評価アンケートの電子化による成果の可視化、学修ポートフォリオの作成を実施する。

8. 評価及び業務の合理化等に関する取組み

- (1) 大学予算の効率的運営と業務の合理化から、管理経費の見直しや省エネルギーの徹底、IT化の推進を実施する。
- (2) コンプライアンス（法令遵守）の徹底を図るため、公的研究資金の不正使用防止、個人情報保護及びハラスメント防止対策等に関するFD・SD研修や啓発活動の充実を図る。
- (3) 2020年度の大学機関別認証評価に向けて、規程や学内制度の見直し、学修成果の可視化や成績基準の明確化、大学の各ポリシーの見直しと明確化を行う。
- (4) 2020年度からの高等教育無償化に向けた機関要件の整理と申請手続、要件に応じた成績管理やカリキュラム整備等の学内での体制構築を行う。

2. 東京経営短期大学

<事業計画概要>

社会に出て通用する学生の育成を目指し、ホスピタリティ精神及び協調性を身につけさせ、進路決定率100%を維持する。また、海外に目を向け、異文化理解を深めるために、短期留学プログラムの

充実や海外大学3年次編入学を可能とする内部整備を行う。さらに、国際教育の充実を図るため、新たにスイス、スペインの海外大学とのMOU締結を進めるとともに、四年制大学編入サポートシステムの確立や公務員試験対策塾「志高会」を開講して、合格率及び進路内定率の向上を目指す。

＜主な事業計画＞

1. 経営総合学科

「デジタル&ファッション」ユニットを新設し、実体験型ゼミナールの充実を図るとともに、1年次10月に実施するキャリア合宿の内容充実・深化を図り、就職対策を行う。また、1年次の簿記検定取得率一般生90%、留学生75%を目指す。

2. こども教育学科

「保育実習」「教育実習」の事前・事後教育の充実を図り、実習を通じて即戦力を身につけさせる。具体的には、One to One対応を基本として実習センターにおける学生支援体制の強化を図るとともに、近隣の7協力園との連携を密にして実習事前指導の強化も図る。また、1年次の保育実習事前「スキルアップ学習」の内容充実・深化を図る。さらに、学生全員が幼稚園教諭・保育士「ダブル資格取得」を目指すため、公務員試験対策塾「志高会」の授業実を敷るとともに、こども教育関連及びビジネス資格、英語の取得を目指す。

3. 学生募集

こども教育学科においては、早期のアプローチが重要であることから、主に4月から7月までの学内行事、教育実習成果、各種資格取得状況等を高校へ発信し、早期にAO入試、指定校入試で入学定員確保を目指す。

また、経営総合学科においては、高校、日本語学校への在学生報告を定期的(年4回ニュースレター発行)に実施し、資格取得・四年制大学編入・公務員対策の取組と実績報告を発信する。

その他、欧州、アジア(中国以外)向けにはフェイスブックへの投稿方法と内容を刷新する。

4. 進路支援の強化

- (1)1年次12月までの各種資格取得指導を徹底し、1年次の年明けからの就職活動に備える。
- (2)キャリアセンター主催の学内企業説明会を1年次2~3月に開催し、春休みを活用した就職指導期間を設けて優良企業への就職へと導く。
- (3)教育実習先幼稚園や保育園への就職に向けて、教育実習のレベル向上を目指した学生指導を行う。
- (4)「スタートダッシュ研修」を2年生内定取得者対象に実施し、就職事前スキルアップを目指す。

3. 環太平洋大学短期大学部

＜事業計画概要＞

学生満足度の向上のため、学生主体で達成感のある活動になるよう、これまでの活動行事(真珠の核入れ・玉出し、ガイヤカーニバル、マリン・スキー実習、学園祭)に加え、IPUとの交流(学友会、保育実習、表現教育、体育会交流等)を深めるとともに、IPU教員の協力のもと、岡山県での集中講義を設定し、質の高い授業と学習環境により学生の満足度を高める。

さらに、学生サポート体制の向上のため、精神的に弱い学生や目的意欲を喪失する学生の支援のために、自己表現力やコミュニケーション力を重点的に育成するとともに、教職員研修を通じて学生の情報を学科全体で共有し、さらなる効果的な学生サポート体制を検討する。

＜主な事業計画＞

1. IPU との授業・行事連携の推進

- (1) IPU 教員による集中講義を実施（「日本国憲法」「英語 I」「教育経営論」）
- (2) 学園祭・スポーツデー・ガイヤカーニバル等の行事への相互参加
- (3) 附属幼稚園・元気の泉保育園での 4 大生と短大生の合同実習（9 月実施予定）
- (4) IPU 公務員講座の TV 授業の実施、体育会・ダンスサークルの合同練習、学友会同士の交流

2. 体育会強化指定 2 クラブのサポート強化

1 学年のみの部員数となる体育会強化クラブ（ソフトボール・ハンドボール）において、全日本インカレ出場、及び 1・2 回戦突破を目標とするために、練習環境を整え、怪我による脱落者のないようフィジカル面・メンタル面のサポートを強化する。

3. 各種業務の周到かつ迅速な対応

- (1) 全員卒業・就職進学 100%を確実に達成する。
単位不足による留年をさせないよう、各ゼミ教員が授業の出席状況や学習面での躓きをこまめに把握し卒業までの学習フォローを行う。また、年間通じて就職セミナーを実施し、基礎学力指導を徹底して指導することにより、大学編入・公務員希望者の合格率 100%を目指す。
- (2) 短大設備の整理
 - ① インフラの再整備（元気の泉保育園敷地分との分離工事）
 - ② 備品の整理（他事業所での再利用検討・廃棄処分見積もり等）
 - ③ 要保管書類・教務関係書類等の整理

【その他の設置校】

4. 環太平洋大学短期大学部附属幼稚園

ヨコミネ式教育法を基盤に「心の力」「学ぶ力」「体の力」を育てるとともに、仏サンマリー幼稚園との交流により、国際感覚を豊かにする。また、認定こども園化を見据えて、元気の泉保育園との連携を強化した教育計画を実施する。

5. クラーク記念国際高等学校

インターナショナルコース及び国際コースの体制を強化し、海外大学進学に向けた学校設定科目の開発を行うとともに、WEB コンテンツの活用や大学・企業との連携強化を図る。また、ネット授業と PBL を組み合わせた自律型学習のコースを新たに展開する。

6. 専修学校 クラーク高等学院天王寺校

5 つの専攻ごとに専門的かつ進路に繋がるカリキュラム教育を実施するとともに、学力向上に向けた生活指導、生徒の自主活動、基本的な学習環境を整える。また、主要 3 科目のレベル別授業において、各レベルでの生徒の学力とペースにあった学習体制の強化を図る。

7. 専修学校 クラーク高等学院大阪梅田校

プログラミングコースと海外大学進学コースを新設するとともに、5 つのコースで特化した教育を展開する。また、特化型教育と教科横断型教育を実現するためにカリキュラム改革を行う。加えて 2020 年度より文学・サイエンス専攻を開設するため、総合進学コースの教育改革を行う。

8. 専修学校 クラーク高等学院名古屋校

「社会で生徒がより良く生きる」態度や素養を育むことを目標として、学力向上だけでなく、夢見る力や自立する力の育成を図る。具体的には、海外大学進学を含む大学進学だけでなく、キャリアⅡの新カリキュラム導入、産学連携商品開発のプロジェクト強化を行う。

9. 創志学園高等学校

生活習慣の自律と学習習慣の自立を図るとともに、全科において生徒一人ひとりの夢実現に向け、教育活動の充実を目指すことを教育方針として、引き続き創学ゼミとの連携強化による学習システムの導入及び映像による個別指導強化等により岡山大学を含めた国公立大学及び関関同立以上の私立大学への合格実績数を伸ばす。また、特別進学コース、フロンティアコースだけではなく、看護科においても海外での短期留学を推進し、生徒に生きた英語力とグローバルな感覚を身につけさせる。

10. 専門学校 東京国際ビジネスカレッジ

グローバル社会で「リエゾン」として活躍できる人材（人と人をつなぎ、異文化理解とホスピタリティを活かしてより高い付加価値を生む人材）を育成する。そのために「ホスピタリティ」科目及び「異文化コミュニケーション講義」を全コースへ導入する。また、海外4か国6大学とのMOU教育提携に加えて、スイス、スペインの大学ともMOU教育提携を締結し、ハワイ、スペイン等での海外研修実施を目指す。

11. 専門学校 東京国際ビジネスカレッジ 福岡校

専門課程においては、企業に受け入れられる学生を輩出するべく、学習指導・生活指導・進路指導を強化する。資格試験、就職の実績を活用した広報体制を構築し、学生募集の安定化を図る。

高等課程においては、学力向上・進路決定の成果向上のため、国際教育と表現教育の充実を図る。国際教育は2020年度に新専攻立ち上げに向けた取組み、表現教育は美術・芸術大学進学対策をカリキュラムに多く組み込むことで、学習環境を整える。

12. 日本健康医療専門学校

「卒業後に責任を持つ教育の実践」を教育目標として掲げ、鍼灸・柔道整復学科は3年次12月までに全員就職内定、国家試験合格率100%を達成する。また、スポーツトレーナー養成コースを発展させた新コースの設置を目指す。さらに、ライフケア学科は就職率100%の維持するため、外部講師による講義及び卒業生による就職先での活動報告等で学生の意識を変えてキャリアアップを図る。

以上